



# かがやけ憲法

# キャラバンニュース

北海道 青森 岩手 秋田 山形 宮城 福島  
 山口 広島 島根 鳥取 岡山 香川 愛媛 高知  
 鹿児島 熊本 長崎 佐賀 福岡 大分 宮崎

## 雇用問題で地元議員へ要請

11/15 宮城

宮城 2 日目の 11 月 15 日は地元選出国會議員に解雇特区などの雇用破壊を止め、雇用を安定させること、また全労連が取り組んでいる「憲法をいかし、安定した雇用を求める署名」の紹介議員になるよう、地元事務所を訪問し、要請しました。

朝 9 時に県労連に集合した 8 人の宮城県労連と全労連の役職員が、3 班に分かれて 7 人の議員への要請を行いました。ある事務所では「地元で雇用を生み出すために、たとえば仮設住宅には足がないのでマイクロバスを共同で持つとか、細かいところからでいいので、少しでも改善して行けたら見通しが持て、人との関係でも違います」と要請し、懇談しました。また、他の事務所では若者の雇用問題が話題となり、秘書が「私も 24 時間働かされるような大きな企業で働いていましたが、辞めて、議員の秘書をしています。ブラック企業など若者の労働実態は深刻な状況ですね。議員に伝えます」と語りました。

その後、かがやけ憲法昼休み宣伝行動を繁華街のフォーラス前で取り組みました。県労連の役員・年金者組合員など 25 人が参加。安藤満宮城県労連議長、高橋信一全労連副議長らが秘密保護法や憲法改悪をストップさせよう、年金など社会保障改悪は憲法 25 条の実質改憲であり、ご一緒に「憲法をいかし、くらし・雇用・平和を守ろう」と訴えました。チラシの受け取りもよく、参加者も元気になる宣伝行動でした。

11/18 福島

## 憲法 16 条いかにして

## 安心して暮らせる福島を

憲法キャラバンは 11 月 18 日福島入りし、昼休み福島駅東口のデパート「中合」前で宣伝を行いました。福島県労連の斎藤富春議長がマイクを握り、「原発事故被害が広がっている福島の復興こそが、いま政府のやるべきこと」「生きる権利、住む権利、財産を守る



権利を保証している日本国憲法を守りましょう」と訴え。全労連山田真巳子副議長が「誰でもいつでも病院に行ける、必要な介護を受けられることが憲法で保証されているがそうはなっていない。秘密保護法が国会で議論されている。『何が秘密かも秘密』とされており、政府は41万の秘密があるといっている。知る権利を奪う秘密保護法をストップしましょう」と呼びかけました。

行動は、かがやけ憲法の横断幕とノボリを広げ、建交労福島県本部や、福島県医労連、JMIU 福島地域支部からも参加して、8人で40分間行いました。買い物に訪れた男女が立ち止まって次々と署名してくれました。

福島では、11月17日午後5時現在、東日本大震災に関わる直接死が1599人、関連死が1577人となっており、いまま関連死は増え続けています。17日投開票で行われた福島市長選挙は、復興の遅れにいらだつ福島市民の国への批判が吹き出た形で、自公民相乗りの現職が敗れました。明日は、郡山市に避難している富岡町と会津若松市に避難している大熊町と懇談します。



## 全国縦断キャラバン2013